

専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	第3回総務部会
開催日時	平成 28年 4月 19日 18時 30分 ~ 20時 20分
開催会場	名寄市役所名寄庁舎4階大会議室
出席委員	長内委員、中尾委員、白井委員、梅野委員、伊東委員、深井委員、稲葉委員、姉崎委員、扇谷委員、東野委員、熊谷委員、宮澤委員、早川委員、寺尾委員
事務局出席者	臼田部長、石橋課長、木村課長、荒井課長、倉澤課長、伊藤課長 渡辺主幹、田原主幹、菊池主査、山本主事
審議事項	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基本計画における将来像について ■ 第1次総合計画の検証について
発言内容	<p>将来像について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■委員 事務局の苦心が伺える。財産は金品を想像したが解釈説明を見ているとインパクトがあり、愛着がもてるように感じてきた。良いと思う。 ■委員 解釈部分の説明は見た人が理解しやすいように、示していくのか？ ◎事務局 従来、解説は記載していない。よりわかりやすくということで欄外に明記することも可能である。必要であれば、明記していきたい。 ■委員 説明があった方がわかりやすいので明記してほしい。 ■部会長 用語解説でも記載できますよね。 ◎事務局 冊子作成は、わかりやすいことが重要であり、キーワードになる。冊子への明記方法は事務局で検討する。 ■部会長 解釈部分の明記方法は、事務局に任せることとする。

第1次総合計画の検証について

- 委員 P26 北海道からの権限移譲の増加について
認定こども園などの業務も、名寄市に権限移譲された。市町村の業務が増加している。こども未来課の業務も増加している中、今後も権限移譲が増えるのであれば、人員削減は難しいのではないか。
- ◎事務局 国や道からの権限移譲により業務が増えているのは事実。例えばパスポートの手続きなど。中心市として近隣市町村の手続きを担っている事務もある。また、新たな事業に取り組む必要もある状況である。1次計画期間中は、同規模自治体との比較で、合併により膨らんでいた職員数を是正し適正化を図るために、一定程度のスリム化を推進してきたが、今後については業務量に応じた適正な人員配置を意識していきたい。
- 委員 市民感覚として、人口減少が進む中、組織のスリム化は推進すべきではないか。
- ◎事務局 可能な効率化は行いつつ適正に人員配置をするという両面で考えていきたい。
- 委員 P13 地域自治区創設について
合併時に推進することとしたものであるが、町内会組織のあり方を含めて整理すべき時期にきている。高齢化と人口減少が進行し、地域コミュニティや町内会組織が疲弊している現状を踏まえた議論が必要。その中で地域自治区の創設についても改めて考える必要がある。実感としてはかなりハードルの高い目標と感じる。
- ◎事務局 指摘いただいた地域コミュニティについては、総務部会で時間をかけて議論いただきたい。地域自治区は合併時の約束事であるが、今後10年を見据えて議論をお願いしたい。
- 部会長 既存の地域連絡協議会のが活性化していかないと自治区創設は難しいと感じる。意見も分かれる課題であるので議論が必要。
- 委員 コミュニティを考えるうえで学校区は重要。
- 部会長 各町内会で役員のみならず手が届かない状況があると思う。
- 委員 以前からの町内会の区割では、状況が変わってきている。子供が少なくなり子供育成会が成り立たない状況が出てきており、町内会の取り組みも高齢者対象の事業が中心となっている。町内会の区割り変更は難しい問題であるが、今後、新たな区割りにしても検討が必要になるかもしれない。

- 委員 風連地区は合併後に行政区から町内会に組織変更があった。複数の行政区が統合となったところもある。少子高齢化で役員のなり手が少ない状況であり、女性の役員がいない状況を改善したいと思っている。女性リーダーの育成が急務である。
- 委員 男女共同参画でも議論になる。各審議委員会で女性委員はいるものの、長は男性である。目標をしっかりと定める必要がある。女性の能力は高いが、外で意見を言う訓練を受けていないため、大胆な改革が必要であると思う。
- 委員 女性委員は一部の方々に役職が集中している状況がある。もっと多くの女性が活躍できる機会を作っていく必要があると感じる。
- 委員 職員の能力向上
道外研修はなかったようですが、他自治体との人事交流はあるのか？
- ◎事務局 北海道や経産省北海道局、地域活性化センターに研修派遣をしている。
- 委員 人事交流は双方にとって良い研修になると思う。
- 委員 コミュニケーション能力向上のための研修を実施していただければと思う。
- ◎事務局 市民と協働を進めるうえで、市民との対話は重要であり、接遇含めて新採用職員にも実施している。様々な世代、役職に応じて研修を実施している。今後も必要な研修について検討し実施していきたい。
- 委員 新人ではなく、採用後数年たった職員などコミュニケーション能力向上が必要かもしれない。
- ◎事務局 必要な研修を検討していく。
- 部会長 定住自立圏について、協定の見直し時期はいつか？
- ◎事務局 定住自立圏協定は期間を定めていないが、定住自立圏共生ビジョンの期間は終了することから、見直し作業を行う。
- 委員 P21 交流活動の移住について
お試し移住住宅の周知方法は？
- ◎事務局 HP や首都圏での移住相談会、杉並区役所の施設でのパンフレット配置などにより周知している。

決定事項等	<ul style="list-style-type: none">・ 将来像について、事務局案を承認。・ 1次計画の検証について承認。・ 次回のから2次計画の施策検討を実施